



Shinshu Employment
Promotion Program
for International Students

SHINSHU

信州留学生就職促進プログラム
信州大学／長野県立大学／長野大学



信州留学生就職促進プログラム

留JOB信州WEBサイト



留JOB信州は、信州大学を中心に、長野県内の大学、長野県、県内企業、経済団体等が連携し、外国人留学生の県内就職および定着促進を目的として実施している取り組みです。

日本での就職を希望する留学生は年々増加している一方で、言語や就職活動への不安、企業理解の不足などにより、希望がありながら日本での就職に至らないケースも少なくありません。一方、県内企業においては、少子高齢化に伴う人材不足や、国際的な競争力強化に向けて、多様な視点や専門性を持つ人材の活用が重要な課題となっています。

こうした背景を受け、日本政府は2017年度より「留学生就職促進プログラム」を開始しました。信州大学では同年より金沢大学と共同で、文部科学省選定の「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職促進プログラムを実施してきました。2022年度以降は、長野県および県内企業とコンソーシアムを構築し、事業を「留JOB信州」として発展的に継続しています。

留JOB信州では、「日本語教育」、「キャリア教育」、「インターンシップ」の3本柱を軸に、留学生が日本企業で働くために必要な知識・スキルの習得、企業理解の深化、地域・企業との接点づくりを支援してきました。これからも、大学・自治体・企業が連携しながら、留学生と地域企業をつなぐ基盤づくりを進めています。



留学生向け教育プログラム内容

日本語教育

ビジネス日本語
日本語作文
日本語試験対策講座

キャリア教育

留学生のためのキャリアデザイン
日本企業を学ぶ
産業・企業研究実践
実践面接演習

インターンシップ

インターンシップ概論
インターンシップ実践

ながの信州学

地域訪問と地域学び
地域企業見学と交流

各種就職活動サポート

伴走型支援

就職に関する個別相談、エントリーシートの添削、
面接に対する不安の解消等々

会員企業向けサービス 主な内容

企業向けセミナー

イベント情報配信 & 留学生向け企業情報発信

留学生向け教育プログラム へのご参加

インターンシップ受入れ
企業見学受入れ
授業へのご登壇等

各種イベント参加

事業報告会
留学生との交流会、等
(オプションメニューの場合もあります)

留JOB信州グローバルプログラムを開始しました

留JOB信州では、これまでの取り組みをさらに発展させ、「留JOB信州グローバルプログラム」として、有料会員制での運営に移行しました。

本プログラムは、地域における人材循環の推進を目的とする「円陣プラットフォーム」(一般社団法人Edu-connect円陣運営)内に設置され、学生・企業・大学がより密接に連携できる場を提供しています。こうした連携を通じて、意欲と専門性を備えた留学生と、地域に根差しつつグローバルな視点を求める企業との相互理解を深めながら、将来につながる人材育成を実現することを目指しています。

留学生就職促進、そして地域定着にご関心のある企業の皆さま方の「留JOB信州グローバルプログラム」への参加をお待ちしております。

プログラムの主な内容

グローバルプログラムにおいても、留JOB信州の中核である「日本語教育」「キャリア教育」「インターンシップ」の3本柱を軸に、大学と企業が連携した取り組みを継続して実施します。

留学生向け

- 日本企業で働くことを想定した **日本語教育**
- 日本の就職活動や職場文化への理解を深める **キャリア教育**
- 企業・業界理解を深める **インターンシップや実践的な学び**

企業向け

会員企業の皆さまには、以下のような機会を提供する予定です。

基本メニュー

- 外国人留学生の活用・定着などをテーマとした企業向けセミナー
- 「留JOB信州」サイトでの登録企業一覧への掲載
- グローバルプログラムやイベント情報の定期的な配信
- インターンシップ事業への参画
- 事業報告会への出席、その他

オプション・メニュー

会員企業さまからのご要望に応え、さまざまな機会をご案内させていただきます。また、新たなサービスの企画も検討いたしますので、ご相談ください。

会費および登録期間

- ◇年会費 33,000円(税込) ※オプション・メニューは別途料金がかかります。
- ◇登録期間 毎年4月1日～3月31日

お問い合わせ先
・
お申し込み先

信州留学生就職促進プログラム(留JOB信州)事務局
信州大学国際部国際企画課内 メール: ryujob@shinshu-u.ac.jp
ホームページ: <https://www.shinshu-u.ac.jp/institution/gec/careersupport/>

大学で学問・専門知識を学ぶ外国人留学生が、日本で働くためには、専門分野に加えた「プラスαの学び」が必要です。本プログラムでは、日本企業で働くために必要な日本語能力を養う「日本語教育」、日本の企業文化や働き方を学ぶ「キャリア教育」、実務経験を積むことができる「インターンシップ」を三つの柱として構成しています。さらに、長野県について理解を深める「ながの信州学」や、企業を直接訪問し、現場を体感する「企業訪問」など、留学生に特化した多彩なプログラムを実施しています。また、企業参加型の研修を通じて、企業の皆さまにとっても外国人採用や人材育成について学ぶ機会を創出しています。



日本語教育

大学で習得した日本語能力に加え、ビジネス場面で使用頻度が高い日本語能力の向上を目指します。相手との関係・場面・目的に応じて適切に使い分けるコミュニケーション能力、会議や打ち合わせなどのビジネス場面で使用される敬語や丁寧語などの接遇表現などを学びます。



キャリア教育

大学で何を学びたいのか、それを将来どのように活かしたいのか留学生と一緒に振り返り、キャリア意識を高めます。また、日本語による多量の就活情報を選別して理解することのサポート、就職活動に関する十分な知識や情報を提供し、留学生が自信を持って日本社会で活動できるようサポートします。



インターンシップ

コンソーシアム加盟企業が実施するインターンシップを留学生向けに紹介しています。5月に開催するインターンシップ説明会では、企業担当者から直接内容をご説明いただけます。就職活動に関する情報収集に課題を抱えやすい留学生に対し、本説明会を通じて企業理解を深め、インターンシップへの参加を促進します。



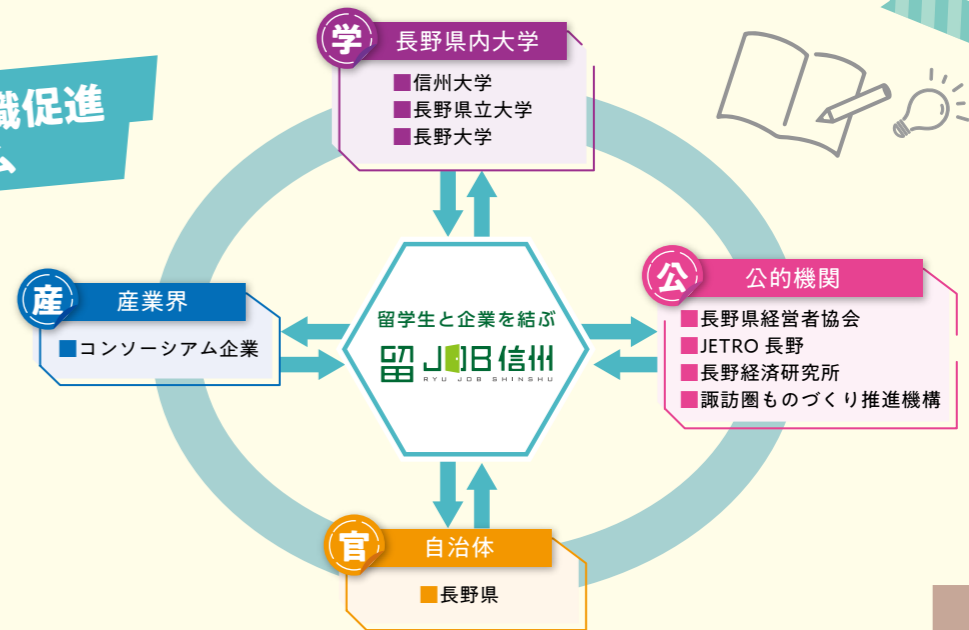
企業向けセミナー

留学生採用後の職場環境で配慮すべきこと、在留資格申請の手続き、企業の悩みやノウハウなど、外国人材の受け入れに関するセミナーを定期的に行っています。採用実績の少ない企業でも、安心して留学生の雇用を進めていくことができます。



信州留学生就職促進コンソーシアム

大学のみならず、長野県、産業界、公的機関がコンソーシアムを構成しています。産・官・公・学が一体となり、高度な専門知識と技術を持つ留学生の地域定着を支援しています。



ながの信州学

信州の文化や歴史を学び、様々な年代の人と触れあい、地域の魅力を体感します。長野県を知ることで、地域の温かさを感じることで、留学生の地域企業就職への意識を醸成します。



各種就職活動サポート

教育プログラムに加え、授業外でも留学生をサポートしています。留学生が抱える様々な疑問、不安を解消するべく、個別相談や就職活動の各ステージにあったサポートなど、個別伴走型で寄り添います。



日本語教育

近年、日本企業において留学生の採用のニーズが高まっています。将来的には、日本語能力を問わず優秀な人を採用していく姿勢になると考えられますが、現在は企業側の受入れ体制が整備途

信州大学

就職成功の鍵を握る
日本語能力

上にあったり、ビジネス特有の日本語が求められる場合もあります。そこで、留学生が入社後に業務に適應できるよう、日常会話能力に加えて、ビジネスに必要な日本語能力も身につけます。



留学生の就活でのビジネス日本語の必要性

現状では、日常会話能力に加え、

- ①日本語のメール等を正確に読んで理解する読解能力、
- ②日本人社員が日本語で行うミーティングで話している内容を理解する聴解能力がまず必要です。それに加えて、
- ③状況に応じて失礼ではない発言ができる発話能力、さらに
- ④報告や依頼などを正確に読み手に伝えられる作文能力が求められています。

それらのベースの上にビジネス日本語能力があります。信州大学では、日本語日本事情科目で、①～④をしっかりと身につけてもらいます。また、キャンパスの異なる留学生向けにオンラインで指導する科目(作文など)も提供しています。



JAPANESE

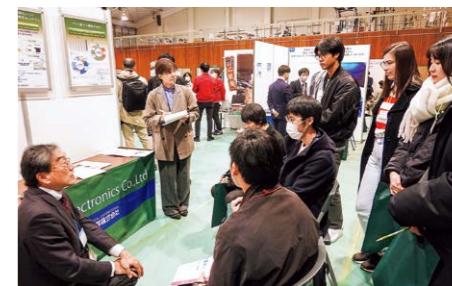
キャリア教育

自分と企業を知り、キャリアの軸をつくる

学生が大学を卒業し、社会で働いていくうえで重要なのは、自分に何ができるのか、何をやりたいのか、そして何を大切にしたいのかを理解するとともに、働くことそのものや企業について現実的な理解を持つことです。

信州大学では、日本での就職に関心を持つ留学生を対象に、自己分析ワークや適職診断、社会人との対話を取り入れたキャリア科目を開講し、目先の就職活動にとどまらない中長期的な視点でのキャリア形成を支援しています。授業では、経験や気づきを言語化し内省を深めることを重視し、自律的にキャリアを考えるための基盤づくりを行っています。

さらに、地域企業との協働ワークや社会人との交流を通じて、日本企業における仕事の進



信州大学
長野県立大学
長野大学

日本で働く力を、
育てる

め方や職場文化への理解を深めるとともに、業界・企業研究に必要な情報収集力を実践的に身につける機会を提供しています。「大しごとく」や「グローバルキャリアフェア」、企業訪問、実務者による模擬面接演習などを通じて、自己理解・企業理解・日本語での表現力を結び付けながら、自身の強みを相手に伝える力を養っています。

これらの取り組みを通じて、留学生が日本で働く将来像を具体的に描き、企業や社会との接点の中で主体的にキャリアを形成していくことを目指しています。

CAREER DESIGN

インターンシップ

仕事を通じて、自分の力を確かめる

インターンシップは、留学生にとっても、自身の学びを社会とつなぎ、実践の中で深めるための重要な教育機会です。

学部1・2年生段階では、これまで接点のなかった企業や業界も含め、さまざまな仕事に触れることで、企業や産業への理解を広げ、将来のキャリア選択に向けた視野を広げます。3年生以降においては、実際の職場での業務体験を通じて、日本

の企業文化やコミュニケーションを学び、知識を実践的なスキルへと発展させるとともに、自身の志向を踏まえて進路をより具体的に考える機会となります。

信州大学では、留JOB信州コンソーシアム会員企業と連携し、企業見学や説明会を通じて、インターンシップへの参加を支援しています。あわせて、事前指導や振り返りを行い、学生の経験が成果として定着するよう支援しています。

留学生にとって、母国とは異なる文化・価値観の中で、大学とは異なる「企業」という場に身を置く経験は、自身の考え方や行動を見つめ直す貴重な機会となります。こうした経験を通じて、多様な価値観への理解や主体的に学ぶ姿勢が育まれ、さらなる学びや自己成長につながっていくことが期待されます。



信州大学

グローバル人材と企業を、
学びで結ぶ

INTERNSHIP

ながの信州学

地域を知ることから始まる、長野でのキャリア

ながの信州学は、長野地域の地理や歴史、地域特性を背景に育まれてきた文化や産業について学び、地域への理解を深めるための取り組みです。地域への訪問や屋外での活動を中心に、実際に地域に足を運び、「地域に触れる」体験を通して学びを深めていきます。

自然環境や風土、産業の成り立ちなどを知ることで、留学生は長野という地域の特色や価値、長野ならではの魅力を身近に感じながら、地域社会と自分自身との関わりについて考える機会を得ます。

また、留JOB信州コンソーシアム企業と連携し、地域企業への訪問や社員との対話の機会を

信州大学
長野県立大学
長野大学

信州を学び、
仕事と暮らしを考える

設けています。企業や働く人との交流を通じて、長野という場所で働くことを実感をもって捉え、日本での働き方や地域企業への理解を深めていきます。

こうした学びを通じて、留学生が地方で暮らし、働くことの意義や可能性に気づき、地域の特徴と自身の価値観やキャリアを結びつけながら、長野での生活を含めた将来の姿を具体的に思い描けるようになることを目指しています。

ながの信州学は、地域を知ることから始まり、長野で働き、暮らす未来へとつなげていく、留JOB信州プログラムの中核を担う取り組みです。



水引体験

各種就職活動サポート

信州大学

実際の就職活動に向けては、授業だけでは十分に対応しきれない課題もあります。特に外国人留学生の場合、就職活動に関する情報を十分に得られなかったり、日本企業特有の就職慣行や雇用の仕組みに戸惑ったりすることも少なくありません。日本人学生にとっては当たり前のことでも、留学生にとっては理解や準備が必要な場面が多くあります。

信州大学では、こうした課題に対応するため、授業外においても留学生の就職活動を支援しています。就職に関する個別相談をはじめ、エントリーシートの添削や面接に対する不安の解消など、一人ひとりの状況に応じた支援を行っています。今後はさらに体制を整

え、留学生に寄り添いながら就職活動を支える伴走型の支援を強化していきます。また、元留学生のネットワークを活かし、学内にとどまらず学外からのサポートも取り入れることで、留学生にとってより心強い支援体制の構築を目指していきます。



企業向けセミナー

外国人材の雇用に関する不安や悩みについて解決の糸口が見つけられるよう、企業向けの勉強会を年2回開催しています。企業向けセミナーでは、多種多様な講師から外国人材の採用において心得ておくべき事項、雇用に関する準備や留意点など、最新の情報や具体的な事例を交えてお話いただけます。



企業向けセミナーは 対面またはオンラインで開催します。
企業の皆さまとの交流の場としてもご活用いただけます。

過去に開催した企業向けセミナー(一部)

- 留学生採用ノウハウセミナー
- 事業成長を促す戦略的人材強化としての留学生採用
- 企業の機密漏洩と対策
- 留学生の就労ビザ取得と入社から永住までのフロー
- 外国人に伝わる 外国人を振り向かせる 採用・広報の着眼点



このページでは、参加大学で行われている取り組みの一部についてご紹介します。



信州大学

〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1-1
TEL: 0263-37-3406 (グローバル化推進センター直通)
FAX: 0263-37-2181

コーディネーターによる伴走型就職活動サポート

信州大学では、留学生全員に入学時および進学時の4月に国内就職希望のアンケートを実施。その際、「国内就職希望」と回答した学生はプログラム会員として登録され、様々な就職支援が提供されます。主な支援事業には「日本語教育」「キャリア教育」「インターンシップ」などの授業が含まれており、その他、コーディネーターによるエントリーシートや履歴書の添削指導、面接練習ではオンライン面接や対面面接の対策など、就職活動に沿った指導、助言を行っています。これらの指導を受けた留学生は、日本人と同等の就職活動を行い、年々就職内定率を向上させています。



また、卒業して社会人となった元留学生のキャリアパスの相談にも対応しています。留学生が日本で社会人として満足な生活ができるよう支援しています。

留JOB信州に参加した学生のコメント

信州大学
経済学部 応用経済学科

ホン ジン フィイさん (マレーシア出身)



私は留JOB信州が主催した、ながの信州学と実践面接研修会などに参加しました。その中、私にとって一番役に立ったプログラムは、面接対策です。ジョブ型雇用のマレーシアでは、日頃自分の長所短所を意識することがありません。そのため、就職を考える際に、自己分析と自己アピールに苦戦しました。しかし、面接対策では、自己分析と自己アピールだけでなく、面接の際のマナーや、面接官はどのようなところを見て人を判断するなどの有用な知識も得られました。私は諏訪圏工業メッセに参加した際、長野県内では、大手企業ほど有名ではないが、高い技術力を持つ中小企業が多く、また、企業内における優遇政策と福利厚生が充実していて、社員の生活の質の向上と企業の発展につながっている企業が多いことに気づきました。私は日本の文化が好きです。それと同じく、私の母国も好きです。私が現在内定もっている企業は、マレーシアにも多くの拠点を持っています。入社後はマレーシアの業務を任せられるよう経験を積み、マレーシアと日本の経済と文化の架け橋になりたいと思います。

留JOB信州のおかげで、私たち留学生は学内では体験できない色々なことを経験することができ、そしてそれは就職にもつながりました。

グローバル化が進んでいる今、留学生は外国から日本に多く来ます。そして地域にとっても、色々な可能性を含んでいると思います。留JOB信州が継続して留学生を支援いただけるようお願いいたします。



長野大学

〒386-1298 長野県上田市下之郷658-1
TEL: 0268-39-0003 (キャリアサポート直通)
FAX: 0268-39-0004

学生の就職にむけた授業内容

「キャリアデザイン論」は、複数の担当教員がそれぞれの専門分野を活かして、オムニバス形式で開講しています。そこでは、まず雇用システムの国際比較について説明し、日本型雇用システムが大学生の就職活動を規定していることを示します。その後、大学での学びや研究を受講者自身のキャリアにどう活かすか自ら考えるようにしています。また、地域の経営者による講話、内定者報告会やグループディスカッションなども行っており、内容は盛りだくさんです。その際、学生が受け身ではなく、より主体的に学ぶことができるように促しています。さらに、第1回目の講義後に作成する履歴書(自己紹介書)を15回の講義を経て



キャリアデザイン論授業風景

アップデートすることが大前提となっています。この講義は、自己分析や企業研究など就職活動のツールを用いつつ、しかし就職活動の準備に終始するのではなく、様々なワークを通してキャリア観の育成を促していきます。

留JOB信州に参加した学生のコメント

長野大学
環境ツーリズム学部

コズイヨウさん (中国出身)



「留JOB信州」の事業に参加して、より「信州」を体験しました。長野大学は東信の上田市にある、地域との繋がりが強い大学です。長野大学での勉強を通じて、地域とふれあい、信州という概念も理解しました。「留JOB信州」に参加して、さらに南信など、ちょっと離れた地域に訪れました。「就職促進プログラム」ということで、いろんな分野の企業や組織と出会い、そこで、いつもと違う「信州」と出会うことができました。

「留JOB信州」で、一度上田にも行ったことがあります。分野が違うから、全然知らなかった企業ばかりでしたが、実際に見学したら、「上田にこんな企業があったな」と驚きました。

長野県は豊富な観光資源を持っています。「留JOB信州」のイベントは、就活のことだけではなく、地域の文化や自然も説明してくれます。また、企業見学の他に、いつも、企業の人との会話のチャンスも作ってくれます。そこで、会場は現地の文化会館、交流センターが多く、ついでにその土地の文化と地域特性を体験することができました。



長野県立大学

〒380-8525 長野県長野市三輪8-49-7
TEL: 026-462-1443 (キャリアセンター直通)
FAX: 026-235-0026

キャリアセンターによる就職対策

長野県立大学キャリアセンターでは、一人ひとりの学生が希望の進路に向かって就職活動ができるように、様々な対策を行っています。3年生4月のスタートアップガイダンスから始まり、インターンシップガイダンス、自己分析講座、エントリーシート作成ワークショップ、業界・職種研究、面接対策講座等、就職活動に必要なスキルをもれなく学べる講座を多数開講し、就活生をサポートしています。また、卒業生のOB・OGの話聞く機会や、企業の人事担当者様から直接説明を聞くことができる学内企業説明会も例年開催され、多くの学生が参加しています。

ガイダンスや講座は少人数、参加型で、ペアワークなどもあり、講義に実践を加えながら、就活のスキルアップができるような内容です。エントリーシート作成ワークショップでは、講師の説明を聞いた後、各自がその場で書いて、その場で講師からフィードバックを受け、納得する内容に仕上げしていきます。



エントリーシート作成ワークショップ

留JOB信州に参加した学生のコメント

長野県立大学
グローバルマネジメント学部

ホウトウヨウチャールズさん (香港出身)



2022年度春期・合宿型キャリア研修に参加しました。

研修では日本就職の概論、各種面接指導、企業見学を体験しました。

日本就職の概論では、日本的経営の理解やキャリア設計の方法、就活プロセス等を学び、面接指導では実践練習をしました。人事経験がある講師から、自分の強みや弱み、志望動機や適性などを的確に伝えるコツや注意点など、特に、留学生としての特徴や価値をアピールする仕方を教えていただきました。

企業見学では、サクラ精機株式会社と信州ハム株式会社の工場を見学し、事業内容や製品について説明を受け、新人社員と話す機会もあり、彼らから働くことの魅力や苦労、就職活動の経験を知ることができ、日本就職に対するモチベーションが高まりました。

この研修に参加し、日本での就活に必要な知識やスキルを身につけることができました。貴重な機会を提供してくださった主催者の方々や、熱心に指導してくださった先生方から感謝申し上げます。

「留JOB信州」は、留学生と地域企業とのネットワークをより強固にし、信州の魅力さをさらに多くの留学生に伝えるための新たな枠組みとして機能しています。私たちは、このプログラムを通じて、地域の成長と留学生のキャリア形成をサポートすることで、持続可能な社会の構築に貢献してまいります。

会員企業の皆様をはじめ、関係各位のご理解とご協力のもと、本事業は着実に歩みを進めております。今後も「留JOB信州」の取り組みを通じて、地域社会との連携を一層深め、留学生の将来を明るく照らし出すことができるよう努めてまいりますので、引き続きご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

▶ 就職状況報告 (これまでの実績)

令和7年5月1日現在

項目	令和元年 (2019)	令和2年 (2020)	令和3年 (2021)	令和4年 (2022)	令和5年 (2023)	令和6年 (2024)
3大学就職者数合計 A	29	38	39	35	35	35
進学を除く卒業生数 B	54	73	60	59	52	67
A/B	55%	53%	65%	59%	67%	52%

企業に入って活躍している元留学生 ～ 憧れだった日本就職の夢を叶え、次なるステージへ～



柔軟性と
適応能力を生かして

信州大学ではグローバル化推進センターに所属し、日本語や日本の文化について学びました。それに加えて、留学にあたり私は二つの目標を持っていました。一つはスリランカの研究を日本で行うこと。そしてもう一つは日本で就職することです。担当の先生にその話をしたところ、信大の留学生就職促進プログラムに参加させてもらうことができました。日本での就職に必要なスキルを学んだほか、ジョブフェアなどにも参加し、多摩川精機と出会うことができました。最初にお会いした人事の方の印象もよかったですし、優れた製品を生み出し、海外へ展開していることも魅力的に感じました。その後、飯田市の本社を見学に行って、建物の美しさや周りの自然環境にも惹かれました。さらに、私と同じく信大への留学を経て就職したモ

エシャーン マーリンダさん

スリランカ出身

多摩川精機株式会社
海外営業本部 海外営業部 海外営業課
ケラニヤ大学 現代言語学科 日本語科卒

日本に留学したいと考えたのは大学2年生の時です。大学の言語学科で日本語を専攻しており、言語の上達のためにはその国に直接行って学ぶことが必要だと思ったからです。

もともと高校生の時には観光業に興味があり、ガイドのような仕事をしたいと考えて大学へ進学しました。大学1年生の時には観光学、経済学、日本語を学び、2年生からは日本語を専門的に学ぶことを決めました。多くの言語がある中で日本語を選んだ理由は三つあります。一つ目は日本が先進国だということ。二つ目は、私たちの住むスリランカでは機械や車などをさまざまな国から輸入していますが、中でも日本の製品が長持ちで、質が高く評価が高かったこと。三つ目は、日本人の「時間を守る」という感覚に興味を持ったからです。スリランカでは、時間を守らないとまでは言いませんが、5分か10分くらいの遅れは許される雰囲気があります。でも私はそれがとても嫌でした。それらの理由から、日本についてもっと知りたい、日本語をもっと学びたいと考えようになりました。

大学で学んでいるうちに「日本で就職したい」という新しい夢も生まれました。そして大学3年生の時、日研生プログラムで信州大学へ入学しました。

ンゴル出身のナムーンさんという先輩がいたことも大きかったですね。ナムーンさんのFacebookで生活の様子などを具体的に見られたことで、日本で働くイメージが膨らみました。

語学力を生かせることもやりがい

現在は、海外営業課でインドの担当をしています。代理店を通して来るお客さんからの要求に対して商品を紹介したり、交渉を行うのが主な仕事です。これまで学んできた英語力が生かせるのもうれしいですし、人とコミュニケーションをとるのが好きなのでやりがいがあります。

わからないことは一つ一つ聞いたり、確認をしたりしながら仕事を進めるようにしていますが、一度だけ、相談したことと異なる内容のメールを送ってしまうという失敗をしたことがあります。あとで先輩や上司に相談をして、すぐに訂正メールを送ったのですが、何がいけないのかを教えてもらい、次からは絶対にしないことを決意しました。そういう時、ただ叱るのではなく、課題としてしっかり考えさせてくれたところがとてもありがたかったです。

スリランカにいたころは、日本の企業に対して「ストレスが多い」というイメージを持っていました。日本の過労死などのニュースの影響もあり、外国では「日本の企業は人間関係や働きすぎでストレスを抱えることが多い」という印象を持っている人は多いと思います。でも実際に働いてみると、先輩や上司のおかげもあると思いますがストレスは全然ありません。先輩2人は「分からなかったら何度でもいいから聞いてね」と言ってくれますし、安心して仕事ができる環境です。また、ナムーンさんや同じ時期に入った日本人の同僚とも仲が良く、一緒にランチをしながら話をしたりと、毎日楽しく過ごしています。

仲間にも恵まれプライベートも充実!



プライベートでは、つい最近、車の免許を取得して車も購入しました。普通なら購入が難しいところを、課長が知り合いの車屋さんを紹介してくれてありがたかったです。休みの日は車を運転して友達に会いに行ったり、お花見パーティーや誕生日会をしたり、冬はスケートにも行きました。また、社内に登山仲間がいて、最近では登山にもハマっています。スリランカにいたときからずっと夢だった富士山への登山も、去年達成しました!富士山へ登ったあとは富士急ハイランドで遊んだりして、本当に楽しかったです。



また、言語交換アプリを通じてスリランカに興味があるという大阪の方と意気投合し、友達になりました。少し前には、その人の結婚式に呼ばれて、スピーチまでさせてもらったんですよ。お正月の長い休みを生かして熊本旅行に出かけるなど、とにかくアクティブに日本を満喫しています!

スリランカには日本で学びたい、働きたいという人が今もたくさんいます。ですから、動画や写真をFacebookで発信して、日本に来たい友人や後輩の様子を知らせています。また、週末などには相談の電話が来ることもあり、わかることはアドバイスしています。何か大きなことができるわけではありませんが、日本で働く先輩としてできる限りのことはしたいと考えています。



インドでの新たな市場開拓を目指して

「日本で就職する!」と勢いで決意したものの、日本の就職活動のことは全然知りませんでした。スリランカでは卒業してから就職活動を始めるので、もともとの感覚が違えます。信州大学の就職促進プログラムでは、日本の就職活動の基礎的な部分から、エントリーシートの書き方、企業へのお礼のメールの出し方など、細かく親身になってアドバイスをもらいました。

また私の場合は、就職が決まった直後に世界中がコロナ禍となり、卒業も入社も1年以上、延びてしまいました。大学の卒業資格も思うように得ることができず、会社もいつまで待っていてくれるのかわらなりましたが、信大の先生やコーディネーターの皆さんが会社への説明など、動いてくださいました。何も知らないまま日本に来て無事に就職できたのも、信州大学の皆さんのおかげですし、心から感謝しています。

思い描いていた「日本に行きたい」「日本で就職したい」という夢を叶えることができ、次の夢はまだ定まっていますが、個人の目標としては、経済的に余裕がある人になりたいと考えています。

また仕事では、先輩や上司に支えていただきながら、インドで新しい受注や売り上げにつながる契約を達成したいです。インドの製造業分野は発展途上にあります。当社の製品やその魅力をインドの市場で広く知ってもらえるよう、これからも一生懸命頑張りたいです。



上司の声

多摩川精機 株式会社(飯田市)

当社は高精度角度センサやサーボモータ、ジャイロなど制御装置のキーパーツを開発・製造・販売している精密機器メーカーです。そのニーズは自動車、鉄道、生産設備、航空機、宇宙産業、防衛産業と多岐に渡り、中国、ドイツ、ベトナムなどの拠点を軸に更なる海外市場拡大を目指しています。

エシャーンさんの魅力は、優しさと明るさ、そして礼儀正しさ。敬語を正しく使えるのも、優れた語学力を基盤に、日本人的な感覚が身につけている証だと思います。エシャーンさんが担当しているインドは自動車をはじめとする産業の発展がめざましい注目エリアですから、その語学力の高さとコミュニケーションスキルを生かし、

自ら現地へ赴いて新たな市場開拓にアタックできるような積極的な働きも期待しています。

国民性や文化などの違いから、時には互いに戸惑うこともあります。それは当然のこと。何か失敗があっても、日本の常識を一方的に押し付けるのではなく、新しい視点と捉えて互いに成長できる機会にしていきたいと考えています。日本で働きたいと考えている留学生の皆さんにはぜひ当社で力を発揮し、スペシャリストとして活躍して欲しい。そのために、会社としても海外の方が安心して長く働けるような柔軟な体制を整えていきたいと考えています。



海外営業本部 海外営業部
海外営業課 課長
下井陽さん

入会企業

信州留学生就職促進コンソーシアムでは、100社を超える長野県内企業からご支援をいただいております。また、留JOB信州のプログラムを円滑に実施していくために、コンソーシアム推進チームを形成し事業の中核として活動しております。産・官・公・学が密に連携をとり、地域企業の皆様が安心して留学生を受け入れられるような体制を整えております。

- (株)アイキューブ
- (株)Aizaki
- 赤田工業(株)
- アスクホールディングス(株)
- アスザックグループ
- アピックヤマダ(株)
- (株)アルトナー
- アルピコ交通(株)
- アルピコホールディングス(株)
- 飯島建設(株)
- 飯山精器(株)
- 石井瓦工業(株)
- (株)稲荷山
- (株)エーアイテック
- (株)エーシーエ設計
- (株)エー・トゥー・ゼット
- (株)エグロ
- (株)エス・アイ・シー
- FICT(株)
- FCL コンポーネント(株)
- エムケー精工(株)
- (株)オーイケ
- (株)小賀坂スキー製作所
- オリオン機械(株)
- カイン工業(株)
- 檜山工業(株)
- 化成工業(株)
- (株)カヤマ
- 喜久水酒造(株)
- きのこの森(有)
- 木下建工(株)
- (株)共進
- 行政書士井上治夫事務所
- (株)協和精工
- KYB-YS(株)
- 興和ゴム工業(株)
- KOA(株)
- (株)小宮山土木
- (株)コンピュータムーブ
- (株)サイト
- (株)サイベックコーポレーション
- サクラ精機(株)
- 山陽精工(株)
- サン工業(株)
- シナノケンシ(株)
- 新光電気工業(株)
- 信州ハム(株)
- シントク(株)
- (株)炭平製作所
- 諏訪湖リゾート(株) RAKO 華乃井ホテル
- セイコーエプソン(株)
- (株)成進社印刷
- 素朴屋(株)
- (株)ダイシン
- (株)ダイヤ精機製作所
- (株)高島計器
- 高島産業(株)
- タカノ(株)
- タカヤマケミカル(株)
- 多摩川精機(株)
- 知識工学(株)
- 長窯(株)
- 使えるねっと(株)
- (株)都筑製作所
- TPR(株)
- (株)テクノプロ テクノプロ・IT 社
- (株)デリシア
- (株)デンソーエアクル
- 東京精電(株)
- 東洋技研(株)
- トピーファスナー工業(株)
- (株)土木管理総合試験所
- 直富商事(株)
- (株)中家製作所
- 長野オートメーション(株)
- (株)ナショナルツール
- 日精エー・エス・ピー機械(株)
- 日精樹脂工業(株)
- (一財)ニッセンケン品質評価センター
- (株)日邦バルブ
- ニデックインスツルメンツ(株)
- ネクストエナジー・アンド・リソース(株)
- (株)ハーモ
- (株)白馬樫の木ホテル
- (株)ハタ研削
- 八光グループ

- 日置電機(株)
- 日立 Astemo(株)
- 日之出建工(株)
- (株)フォレストコーポレーション
- プレマテック(株)
- (株)北條組
- ホクト(株)
- (株)ホテル紅や
- マーベルキャリアコンサルティング(同)
- (株)前田製作所
- (株)松本鉄工所
- (株)マナテック
- 丸一繊維(株)
- マルコメ(株)
- (株)丸眞製作所
- ミクナスファインエンジニアリング(株)
- (株)みずぎコーポレーション
- ミネベアミツミ(株) 軽井沢工場
- (株)三葉製作所
- (株)ミマキエンジニアリング
- 宮坂醸造(株)
- (株)ヤマト
- (株)ユニオンプレート
- ヨコタインターナショナル(株)
- ルピナ中部工業(株)
- (株)ロイヤルオートサービス
- ワールド開発工業(株)
- (株)綿谷製作所

『留JOB信州』推進チーム

- 長野県産業労働部
- (一社)長野県経営者協会
- (一財)長野経済研究所
- NPO 法人諏訪圏ものづくり推進機構
- (独)日本貿易振興機構長野貿易情報センター
- 公立大学法人長野県立大学
- 公立大学法人長野大学
- 国立大学法人信州大学

入会企業の声

長野オートメーション株式会社



総務経理部 係長 内山 筒さん

学生を採用するために奔走していた時に本プログラムに出会いました。現在、2名の外国人高度人材が当社で働いています。彼らが入社して社内が変化した点は、異なる文化・異なる言語・異なる生活習慣の中で、彼らが日本語を使って自分達と同じ業務を真面目に一生懸命に取り組んでいる姿を目の当たりにして、外国人であっても一緒に働く同志という気持ちが芽生えたことだと思います。日本人/外国人と分け隔てることなく、同じ採用試験を実施し、合格できる人材であれば、採用枠に関わらず採用したいと考えております。



ダイアー ジョシュア トレーさん(アメリカ合衆国出身)

FICT 株式会社



人事部 グループ長 清水 麻裕さん

「かがやき・つなぐ」北陸・信州留学生就職促進コンソーシアムの工場見学ツアーでは当社に数十人規模の留学生をお招きし、当社について深く知っていただきました。

そんな中、留JOB信州を通じて大変優秀な外国人高度人材と知り合うことができ、当社の開発エンジニアとして実際に採用に至りました。現在、半導体基板商品開発部に所属している元留学生の彼は、大学で学んだ専門知識、就職促進プログラムで学んだ日本の文化・歴史の知識を活かして職場の若手中核社員として活躍しています。またベトナムの方らしく、明るく朗らか、人懐っこく誰ともコミュニケーションをとれることが彼のストロングポイントで、職場の雰囲気がとても明るくなりました。



チン ドオウク ニヤットさん(ベトナム出身)

コンソーシアム・グローバルプログラム入会のメリット

01 留学生との
出会いの場を持てる



02 採用の
疑問点や不安な点が
解消される



03 インターンシップ
参加支援



お問い合わせ

信州留学生就職促進プログラム(留JOB信州)事務局
信州大学国際部国際企画課内 メール: ryujob@shinshu-u.ac.jp